

施策名：子育てしやすい環境づくりの推進

事業名	担当課・室名	ページ
おおいた子育てほっとクーポン利用促進事業	こども未来課	1 / 4
大分にこここ保育支援事業	こども未来課	1 / 4
地域子ども・子育て支援事業	こども未来課	1 / 4
放課後児童対策充実事業	こども未来課	2 / 4
放課後児童クラブ施設整備事業	こども未来課	2 / 4
おおいた子育て応援スクラム事業	こども未来課	2 / 4
子育て・高齢者世帯住環境整備事業	建築住宅課	3 / 4
保育環境向上支援事業	こども未来課	3 / 4
子育て支援従事者研修事業	こども未来課	3 / 4
保育の資質向上事業	義務教育課	4 / 4
病児保育充実支援事業	こども未来課	4 / 4
子育てと仕事両立支援事業	こども未来課	4 / 4

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価			
1	<b>おおいた子育てほっとクーポン利用促進事業</b> (H30～) 子ども未来課 子育て家庭の負担を軽減するため、様々な子育て支援サービス等に利用できる「おおいた子育てほっとクーポン」を出生時に配布する。	①おおいた子育てほっとクーポンの利用促進 おおいた子育てほっとクーポンの配布 ・対象:平成30年度以降に出生した子どもを持つ全世帯 ・金額:養育する子どもの数(出生順位)×10,000円 ・対象サービス:一時預かり、病児保育、おむつ・ミルクの購入など ・有効期限:交付の日から3歳の誕生日の前日まで ・負担割合:県1/2、市町村1/2 ②地域の子育て支援の周知等 ・クーポン券の印刷 ・クーポンの制度の周知のためのチラシ作成	① 88,905 ③	<b>おおいた子育てほっとクーポンを知っていると答えた人の割合</b>	目標値	100.0	100.0	100.0	B			
			② 3,653 ④		実績値	91.0	92.5	—				
			主な活動指標と達成率		[%]	達成率	91.0%	92.5%		—		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 101,979 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 92,558 (0)		独自サービスを実施している市町村数 [市町村]	目標値 18 実績値 18 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 市町村独自サービスの拡充、制度の周知を図ったことにより、「おおいた子育てほっとクーポンを知っている」と答えた人の割合は前年度よりも上昇した。また、令和3年度からは「おむつ・ミルクの購入」をサービスに追加し、利用促進を図った。 引き続き、市町村と連携し、制度の周知を行い、子育て世帯の利用を促進する。					
					認可保育所等事業実施市町村 (認可第2子) [箇所]	目標値 18 実績値 18 達成率 100.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価			
2	<b>大分にこここ保育支援事業</b> (H16～) 子ども未来課 保育を必要とする家庭の経済的負担を軽減するため、第2子以降の3歳未満児の保育料を全額免除する市町村に対し助成する。	①大分にこここ保育支援事業 ・対象施設:保育所、認定子ども園、地域型保育事業所及び届出の対象となる認可外保育施設 ・対象者:第2子以降の3歳未満の保育を必要とする以下の児童 (ア) 保育所、認定子ども園、地域型保育事業所に通う児童 (イ) 認可外保育施設に入所する児童であって、保育を必要とし、かつ、当該施設へ入所することについて市町村長が適当と認めた者 ・免除割合:第2子以降全額免除 (認可外保育施設は月35,000円上限) ・負担割合:県1/2、市町村1/2 (中核市のみ県1/4、市3/4)	① 601,715 ③	<b>県内出生数に占める第2子以降の割合</b>	目標値	60.0	60.0	60.0	B			
			②		④	実績値	57.4	56.6		—		
			主な活動指標と達成率		[%]	達成率	95.7%	94.3%		—		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 635,693 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 601,768 (0)		認可保育所等事業実施市町村 (認可第3子) [箇所]	目標値 18 実績値 18 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和元年10月から第2子以降の保育料を全額免除したことにより、保護者の経済的負担が一層軽減された。 引き続き、市町村と連携し、子どもを産み育てやすい環境整備に努める。					
					[箇所]	目標値 18 実績値 18 達成率 100.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価			
3	<b>地域子ども・子育て支援事業</b> (H25～) 子ども未来課 子育て家庭の多様な保育ニーズに応えるため、保育所等における延長保育や一時預かりなどの子育て支援事業を実施する市町村に対し助成する。	①一時預かり事業 家庭で保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を保育所、幼稚園等で預かる事業に対する補助 ②地域子育て支援拠点事業 地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を実施する事業に対する補助 ③延長保育事業 通常利用日・時間以外に保育所、認定子ども園等において保育を実施する事業に対する補助 ④利用者支援事業 子ども・保護者の身近な場所で、子育てサービスの情報収集や相談、助言等を実施する事業に対する補助	① 198,982 ③ 44,636	<b>子ども・子育て応援プランの最終目標達成に向けた地域子ども・子育て支援事業の実施率</b>	目標値	65.6	74.2	83.4	A			
			② 183,840 ④ 29,610		実績値	74.8	75.5	—				
			主な活動指標と達成率		[%]	達成率	114.0%	101.8%		—		
			予算額 (うち翌年度繰越額) 605,373 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 518,396 (17,008)		地域子育て支援拠点事業実施施設数 [箇所]	目標値 75 実績値 73 達成率 97.3%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「おおいた子ども・子育て応援プラン(第4期計画)」に基づき、一時預かりや、延長保育などのサービスを実施することができた。 今後も本計画に基づき、市町村と連携し、更なる事業の推進を図る。					
					一時預かり事業実施施設数 [箇所]	目標値 282 実績値 361 達成率 128.0%						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
4	<b>放課後児童対策充実事業</b> (H3～) 子ども未来課 放課後の子どもに安全で健やかな生活の場を提供するため、放課後児童クラブを運営する市町村に対し助成するとともに、クラブの運営強化に向けた取組を支援する。	①放課後児童健全育成事業運営費補助 運営費や障がい児を受け入れるための職員配置、学校の敷地外の空きビル等を活用して実施する場合にはかかる費用の補助（403クラブ） ②放課後児童クラブ保護者負担金減免事業 低所得者世帯の保護者負担金を減免する市町村に対する補助 ③放課後児童クラブ運営強化事業 ・ブロック別研修会の実施 ・放課後児童クラブアドバイザー派遣事業 労務環境の改善等を行うクラブへのアドバイザー派遣（30回）	① 743,835 ③ 1,016	<b>放課後児童クラブ登録児童数</b> 目標値 15,215 実績値 14,453 達成率 95.0%	15,215	16,022	15,072	B	
			② 20,908 ④		達成率	14,453	14,782		—
			主な活動指標と達成率 放課後児童クラブ数		【人】	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 放課後児童クラブの運営費等を助成することによって、利用者のニーズに対応することができ、感染症対策を実施しながら児童を受け入れた結果、登録児童数は昨年度から増加した。また、放課後児童クラブ運営強化事業におけるブロック別研修会においても、感染症対策として、研修内容を録画し動画配信を行った。引き続き、市町村と連携し、放課後児童クラブの受け皿拡大や処遇改善による放課後児童支援員等の確保に努める。			
			[クラブ] 障がい児を受け入れるクラブ数		目標値 396 実績値 403 達成率 101.8%				
			[クラブ] 障がい児を受け入れるクラブ数		目標値 218 実績値 164 達成率 75.2%				
予算額 (うち翌年度繰越額) 888,226 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 765,759 (28,956)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
5	<b>放課後児童クラブ施設整備事業</b> (S39～) 子ども未来課 放課後の子どもに安全で健やかな生活の場を提供するため、放課後児童クラブを整備する市町村に対し助成する。	①放課後児童クラブ整備事業 改修（余裕教室等をクラブとして整備）：8クラブ	① 20,383 ③	<b>放課後児童クラブ定員拡大数</b> 目標値 333 実績値 648 達成率 194.6%	333	409	320	D	
			②		④	達成率	648		307
			主な活動指標と達成率 放課後児童クラブ数		【人】	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 放課後児童クラブの整備に対して助成を行ったことにより、利用定員も拡大し、児童クラブ数も前年度より3クラブの増となった。クラブの利用定員が拡大することで、利便性向上など利用者のニーズに対応することができた。市町村の整備計画変更により、予定していた施設整備が令和4年度以降の実施となるなど、令和3年度の定員増加数は目標値を下回ったが、引き続き、市町村と連携し、放課後の子どもの安全で健やかな生活の場づくりを推進する。			
			[クラブ] 放課後児童クラブ数		目標値 396 実績値 403 達成率 101.8%				
			[クラブ] 放課後児童クラブ数		目標値 実績値 達成率				
予算額 (うち翌年度繰越額) 27,794 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 20,383 (0)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
6	<b>おおいた子育て応援スクラム事業</b> (R1～) 子ども未来課 地域全体で子どもの成長と子育て家庭を応援するため、イクボス宣言企業や子育て応援店を拡大するほか、男性の子育て力向上セミナー等を開催する。	①おおいた子育て応援パスポート魅力向上事業 子育て家庭や妊婦の方に特典の提供等を行う子育て応援店の登録拡大（1,415店舗） ②イクボス推進・男性の子育て力向上事業 企業経営者等を対象にしたイクボスセミナーの開催（2回） ③子育てパパのコミュニティづくり推進事業 地域子育て拠点において、子育て参画に関心のある父親を対象とした講座の実施 ・日田市：45名 ・竹田市・豊後大野市：44名 ④子育て応援活動推進事業 地域での子育て応援活動を行う団体の活動強化・拡大に要する経費の助成（10団体）	① 7,911 ③ 3,234	<b>子育てが地域の人に支えられていると答えた人の割合</b> 目標値 73.0 実績値 63.8 達成率 87.4%	73.0	75.0	75.0	B	
			② 6,820 ④ 1,864		達成率	63.8	68.2		—
			主な活動指標と達成率 イクボス宣言企業数		【%】	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和3年度は、おおいたイクボス宣言サイトの開設やセミナーの開催によりイクボスを推進し、宣言企業は57社増加した。（R2：60社→R3：117社）また、子育てパパのコミュニティづくり推進事業では、日田市の参加者によるパパサークルが設立されるなど、地域における子育て環境が整ってきている。引き続き、男性の子育て参画を推進するなど、社会全体で子育てを応援する機運づくりを推進する。			
			[企業] 子育て応援店舗数		目標値 209 実績値 117 達成率 56.0%				
			[店舗] 子育て応援店舗数		目標値 1,000 実績値 1,415 達成率 141.5%				
予算額 (うち翌年度繰越額) 23,971 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 23,630 (10,409)									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
7	<b>子育て・高齢者世帯住環境整備事業</b> (H30～) 建築住宅課 子育て世帯の住環境の向上や三世帯同居の支援、高齢者の暮らしの安心確保のため、住宅改修に要する経費を支援する市町村に対し助成するほか、住宅確保用配慮者の居住安定に向けた支援体制構築のため、セーフティネット制度等の周知・啓発を行う。	①住宅改修に要する経費を支援する市町村への助成及び広報・啓発 ・子育て支援型 55件 ・三世帯同居支援型 20件 ・高齢者バリアフリー型 92件  ②住宅セーフティネットの制度周知 ・居住支援セミナー 2回 ・住宅さがしの協力店登録数 19店舗 ・市町村居住支援ネットワーク会議 14回	① 26,229 ③	住宅改修工事補助件数	目標値	140	150	150	A		
			② 329 ④		実績値	155	167	—			
			主な活動指標と達成率			[件]	達成率	110.7%	111.3%	—	
			リフォーム支援説明会回数			目標値 7 実績値 6 達成率 85.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 ニーズに合わせた要件拡充や他事業と連携した事業PRを行った結果、前年度以上の補助件数となった。 令和4年度からは、子育て支援型の要件拡充を行うとともに、引き続き市町村と連携し、事業のPRを行う。				
予算額 (うち翌年度繰越額) 31,004 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 26,558 (0)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
8	<b>保育環境向上支援事業</b> (H30～) こども未来課 保育人材の確保と職場定着を図るため、高校生向けの出前講座や福岡での就職イベント等を実施するとともに、業務効率化など、働き方改革に取り組む保育施設に対し助成する。	①保育士資格取得と県内就職支援 ・保育士修学資金の貸付(105名) ・保育士試験対策に要した講座受講料の補助(1件) ・高校生を対象にした出前講座等の実施 ②保育士の負担軽減 保育補助者の雇用に係る経費の助成(8市町) ③保育現場の働き方改革支援 ・働き方改革に取り組む保育所等へのコンサルタントの派遣と横展開を図る成果報告会の開催 ・働き方改革実践リーダー養成研修の実施(3回) ・ICTを活用した業務効率化に取り組む保育施設への助成(6施設) ④保育所等の質の確保 ・認可外保育施設への巡回支援(39施設) ・医療的ケア児保育支援事業	① 258,948 ③ 13,226	アンケートによる保育士不足数	目標値		396	377	A		
			② 42,613 ④ 6,040		実績値		385	—			
			主な活動指標と達成率			[人]	達成率		102.8%	—	
			働き方改革実践リーダー養成数			目標値 20 実績値 7 達成率 35.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 修学資金の貸付による保育士の資格取得支援や保育現場の働き方改革を推進した。働き方改革の成果報告会に参加した園からは、自園でも取り組みたいとの声もあったことから、より一層の横展開を図り保育士が離職しない働きやすい環境作りを行っていく。 令和4年度は、新規保育士確保のために、新たに保育士試験受験対策講座を開講するなど、引き続き保育士資格取得を促進し、保育士不足の解消を図る。				
予算額 (うち翌年度繰越額) 364,386 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 332,194 (292,955)									
			求人登録者及び求職登録者数	目標値 400 実績値 206 達成率 51.5%							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
9	<b>子育て支援従事者研修事業</b> (H27～) こども未来課 放課後児童クラブや地域子育て支援拠点等に従事する者の資質の向上を図るための研修を実施する。	①放課後児童支援員に係る研修 ・県認定資格研修：2回 ・資質向上研修：動画配信 ②子育て支援員に係る研修：2回 ③ホームスタート(家庭訪問型子育て支援)従事者に係る研修：2回	① 3,584 ③ 304	専門的な研修を修了した子育て支援者数	目標値	180	180	180	B		
			② 598 ④		実績値	238	177	—			
			主な活動指標と達成率			[人]	達成率	132.2%	98.3%	—	
			専門的な研修の実施回数(放課後児童支援員)			目標値 1 実績値 1 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍の中での開催のため、専門的な研修を修了した子育て支援者数は目標値を下回ったが、オンライン研修を取り入れながら研修希望者に対して必要な研修機会を提供することができた。 引き続き、放課後児童支援員及び子育て支援員のさらなる資質向上を目指して、各研修を実施する。				
予算額 (うち翌年度繰越額) 5,295 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 4,486 (2,091)									
			専門的な研修の実施回数(子育て支援員)	目標値 1 実績値 2 達成率 200.0%							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-1-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
10	<b>保育の資質向上事業</b> (H29～) 義務教育課 多様な保育サービスの質・量を充実させ、職員の資質向上を目指すため、担い手である保育士等向けに専門研修を実施することにより、県内全域の幼児教育・保育の質の向上を図る。 予算額 (うち翌年度繰越額) 25,868 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 22,765 (15,390)	①保育士等の職務内容等を踏まえた体系的な研修の実施 ・保育士等キャリアアップ研修(7回) ・幼保連携型認定こども園法定研修 ②特別な配慮を要する子どもや家庭への支援等に精通した保育コーディネーターの養成 保育コーディネーター養成研修(7回) ③保育士のサポートを行う子育て支援員の養成 子育て支援員研修(2回)	① 13,812 ③ 3,816 ② 4,985 ④	<b>保育コーディネーター認定数</b> [人]	目標値 80	80	80	40	A
			実績値 -		-	96	-		
			主な活動指標と達成率	保育士等キャリアアップ研修の開催回数 [回]	目標値 6 実績値 7 達成率 116.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルスの影響により、保育コーディネーターの養成が昨年度は円滑に実施できなかったことから、2か年かけて養成する取組を進め、令和3年度に96名を認定した。令和4年度も、新型コロナウイルスの影響を考慮し、研修の募集定員を半減させる等の感染拡大防止の対応を行いながら取組を進めていく。 また、保育士不足やコロナ対応に伴う業務負担の増により、研修を受講する余裕がない保育士が多いことから、オンラインを活用するなど、保育士が参加しやすい研修の実施に努める。			
			保育コーディネーター養成研修の開催回数 [回]	目標値 7 実績値 7 達成率 100.0%					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
11	<b>病児保育充実支援事業</b> (H29～) こども未来課 安心して病気の子どもを預けられる環境を整えるため、病児保育を実施する市町村に対し運営費を助成するとともに、病児保育の広域化・ICT化に向けた取組を支援する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 124,748 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 110,012 (3,141)	①病児保育施設運営費補助 市町村が実施する病児保育事業の運営費の助成(17市町村・31施設) ②病児保育の広域化・ICT化に向けた取組支援 ・市町村域を越えた広域利用を可能にする、県内病児保育の広域化協定の締結 ・病児保育施設が行うICTシステム導入に要する経費への助成(17施設) ③病児保育研修 病児保育従事(予定)者を対象に、資質向上を目的とした動画の配信(1回、2本)	① 101,861 ③ 420 ② 7,731 ④	<b>病児保育施設数</b> [箇所]	目標値 31	31	31	30	A
			実績値 31		31	31	-		
			主な活動指標と達成率	病児保育事業実施市町村数 [市町村]	目標値 17 実績値 17 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 病児保育の運営費を補助することにより、安心して病気の子どもを預けられる環境を整備した。10月からは県内市町村と連携し、病児保育の広域化とICT化を開始し、利用者の利便性向上や施設の業務効率化に寄与した。また、病児保育研修は新型コロナウイルスの影響により動画を作成し、HPで公開するなど工夫した。 引き続き、市町村や関係施設と連携し、病児保育の充実を図る。			
			病児保育研修の実施回数 [回]	目標値 1 実績値 1 達成率 100.0%					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
12	<b>子育てと仕事両立支援事業</b> (R1～R3) こども未来課 子育てと仕事の両立を推進し、希望する子どもの数の実現を後押しするため、育児短時間勤務を取得しやすい環境を整備する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 40,184 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 32,024 (0)	①両立応援給付事業(労働者向け補助金) 育児短時間勤務から続けて、次の子どもの育児休業を取得した従業員に対する応援金の支給 ・対象:育児休業給付金の減額分(フルタイム勤務であれば受給できた額との差額分) ・支給額:上限30万円 ・支給件数:105件 ②育児短時間勤務奨励金(事業主向け補助金) 育児短時間勤務を適用した事業主に対する奨励金の交付 ・対象:常用雇用者数300人以下のイクボス宣言を行っている事業主であって、従業員が直近3年間で初めて6か月以上育児短時間勤務を取得した事業主 ・支給額:30万円 ・支給件数:5件	① 27,150 ③ ② 1,500 ④	<b>両立応援給付金支給件数</b> [件]	目標値 60	60	96		A
			実績値 76		76	105			
			主な活動指標と達成率	企業に対する事業説明回数 [回]	目標値 70 実績値 123 達成率 175.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 従業員に育児短時間勤務を取得させた事業主への奨励金の支給や、育児短時間勤務から続けて育児休業を取得した労働者向けの給付金の支給を通じ、育短の取得の推進を図ることができた。また、保育所へのチラシ配布など事業周知を徹底したことにより、目標を達成することができた。 当初の事業目的を概ね達成したことや、国における企業向けの類似の給付金創設に伴い、当該事業は終了する。			
			企業に対する事業説明回数 [回]	目標値 実績値 達成率					